

あなたの IBHRE-JAPAN 認定試験の得点が意味すること

2008年1月に日本で実施された IBHRE 認定試験について、合否決定得点をお知らせしました。日本語で実施される IBHRE 認定試験に合格するには、総得点で 570 点以上が必要となります。得点は、正答数が約 525 点から 570 点を超える範囲に分布するスケールスコアに変換して決められたものです（各問題の点数は同じです）。IBHRE コンピューター試験では、受験者全員に同じ数の問題が与えられます。正答数によって、スケールスコア換算点が算出されます。

スケールスコアは、正答数（素点）を変換した点数です。高さ（テストの成績）をセンチメートル（素点）からインチ（換算点）に換算するように、素点は別の測定単位（スケールスコア）に換算されます。試験の得点を解釈するには、基準となる統一された枠組みが必要です。スケールスコアにすることにより、特定の試験形式やバージョンに影響されずに合格に必要な知識の量について、IBHRE が採用する標準に基づいた枠組みができることとなります。合格にはスケールスコアで最低 570 点が必要です。**スケールスコアは、正答数でも正答率でもないことにご注意ください。**

当該合格点は、米国で行われる試験の合格点を、日本語で実施される IBHRE 認定試験に関連付けるための体系化された手順を用いて決定されました。当該合格点に関する決定は IBHRE が行い、統計的関連付けの手順に従ってあなたが受けた試験に適用されました。

合格者は、**合格点**を超えていることに関する簡単なメッセージを添えたスコアレポートを受取ります。合格者には正答数はお知らせしません。**Passing (合格)**と書かれたスコアレポートを受けたということは、あなたが IBHRE が判断する能力レベルで認定を取得するのに必要な IBHRE 知識を取得したことを意味します。

不合格者は、525 点から 569 点までのスケールスコアが記載されたスコアレポートを受取ります。**自分のスコア**が数値で記載されたスコアレポートを受けた場合は、日本語の IBHRE 認定試験で不合格になったということです。認定を取得するためには、IBHRE 認定試験を再受験し、合格しなければなりません。

得点を見れば、合格点の 570 点から自分の得点がどれほど離れているか分かります。スコアを通知されたということは、IBHRE が判断する医療実践レベルに必要な知識と臨床スキルを未だ習得していないことを意味します。あなたのスコアとともに、試験に含まれた各分野についての診断メッセージも報告されます。全分野の概要は、以下のリンクから確認することができます。

<http://www.ibhre.org/ExamPreparation/ContentOutlineEP.htm>

～日本語訳～

診断メッセージは、得意・不得意分野を示すことで、不合格の原因となった分野を特定する手助けをする狙いで作成されたものです。診断メッセージのサブスコアは、次回も同様になるというものではありません。このメッセージは、IBHRE 不合格者が次の試験に向けてフォーカスすべき分野を手助けするものです。とはいえ、不合格者にとっては、全分野を勉強していただくことが最善の方法です。この診断メッセージは、合否判定に使われるものではありません。なぜならこれらのメッセージが信頼できない結果につながる恐れがあるからです。以下のような 2 つの IBHRE 診断メッセージが不合格者に伝えられます。

メッセージ番号	IBHRE 診断メッセージ
2	あなたの得点は、必要な能力の最低水準に達しているか、またはこれを越えています。
1	あなたの得点は、必要な能力の最低水準に達していません。

IBHRE 認定試験の再受験を予定されているのであれば、今回とは異なる質問で構成される試験が与えられ、少々異なる得点を得ることになるでしょう。どのような試験であっても、完璧に正確に一貫性を持って成績を測定することはできません。この試験の内容一貫性は、0.00（一貫性なし）から 1.00（完璧な等質性）の幅の指数を使って、約 0.95 です。この指数によって、日本語で実施される IBHRE 認定試験の判定が一貫していることが分かります。本テストで何度か異なるバージョンを受けると、各試験用紙の問題それぞれの内容が異なることから、おそらく毎回異なる得点を取ることになるでしょう。ただし、代表的な得点又は平均得点の前後に分布するものと思われます。あなたの平均点より高いこともあれば、低いこともあります。実際には、あなたは今回の自分の得点を知っているだけで、自分の平均点を知りません。あなたの平均点がどのあたりかを知るために「測定誤差」を使うことができます。68%の確率で、平均得点は測定誤差が定める範囲のどこかに入ります。

この変数が統計的に推定されたものを「標準測定誤差」と呼びます。お伝えした得点についての標準測定誤差（SEM）は約 2 ポイントです。従って、今回の試験の得点から標準測定誤差を足したり引いたりする（およそプラスマイナス 2 ポイント）ことで、あなたの平均得点がどのあたりにあるかを知ることができます。

さらに、あまり勉強せずに IBHRE 認定試験の 2 度目を受けると、同じ合否結果を受けることになるでしょう。各試験で同じ合否結果を得る受験者の比率予想は約 91%です。